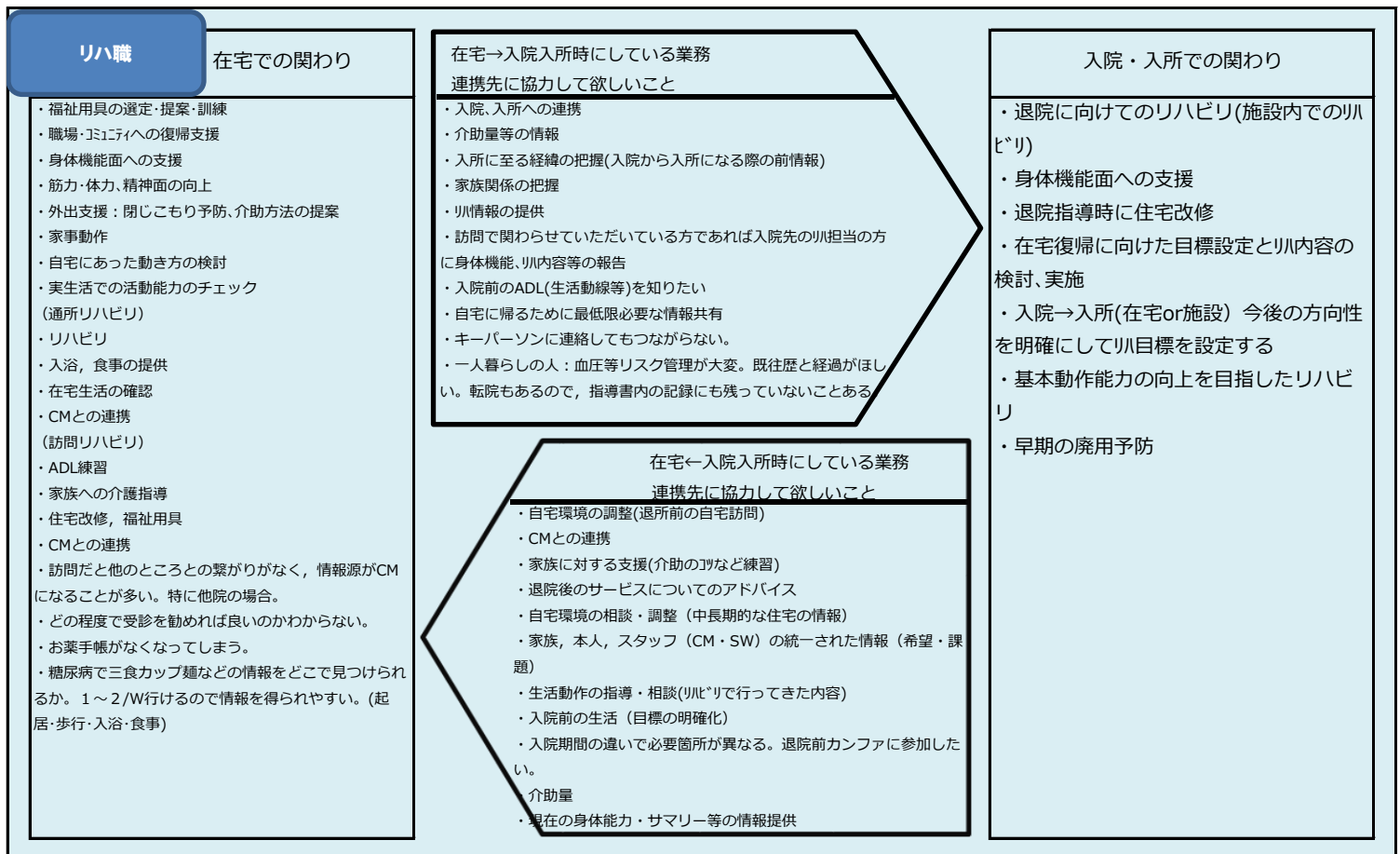
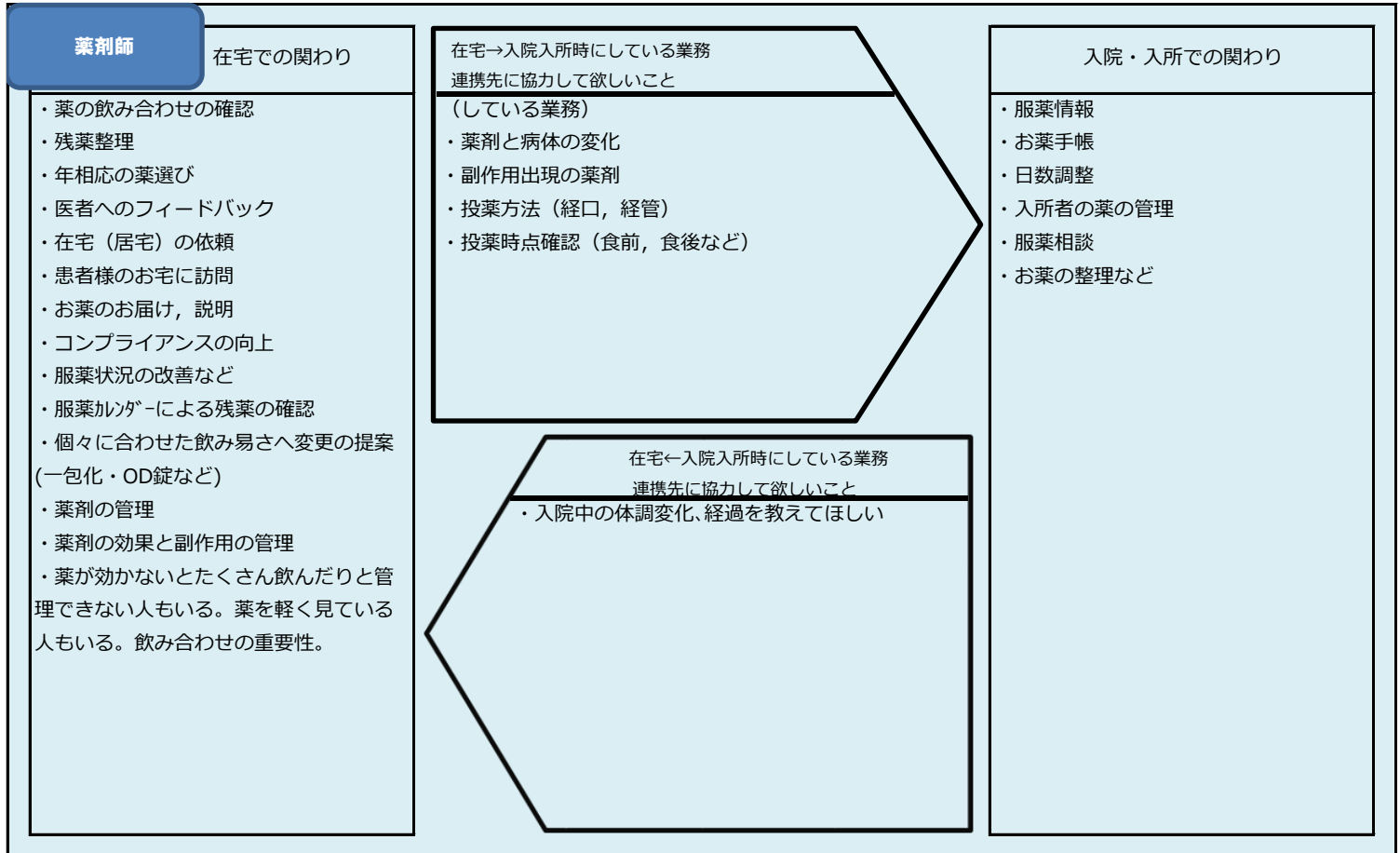


4つの場面【①在宅・②在宅→入院入所・③入院・入所・④在宅←入院・入所】にて、自分が専門職としてできること、連携相手に期待すること。
 （★実際にしている業務内容、依頼されることは少ないが、できること。★連携相手に協力して欲しいこと。）

医師	在宅での関わり	在宅→入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと (している業務)	入院・入所での関わり
	<ul style="list-style-type: none"> ・往診（在宅医療） ・内服薬等の処方 ・電話等での対応（医療） ・開業しながらの訪問は往診日を決めてやらないと難しい ・摂食、嚥下勉強会（PDN：NPO法人PEGドクターズネットワーク）にてガーゼにイソジンをつけて拭き取り。冷水で感覚↑。拭き取るだけで全然ちがう ・CMから情報ない。家族か本人から往診の問い合わせあり。実際当日は行けず、アポを取るの为先になってしまう。理学療法士にも予定を合わせてもらわないとできない。 ・経過、既往、薬など、安全な治療のために絶対に必要 	<p>在宅←入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと (している業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報 ・利用者の希望と連携先の考える医療への要求 ・通常医療、在宅の関わりと同じ ・在宅に戻るときのADL ・薬剤の変更 ・帰宅日 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者さんの生活リハビリの指示 ・通院していた際の処方 ・入所で不可能な医療への対応

歯科医師	在宅での関わり	在宅→入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと	入院・入所での関わり
	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問歯科 ・訪問歯科の医師は特養などと契約して一回に多数診療する。在宅より施設訪問が多い。医師、衛生士が定着しないとキャリアが築けない。 ・初回は医師訪問し、二回目からは衛生士の訪問でいけなしか検討中。必要に応じやり取りする。 ・抜歯であれば麻酔も必要なので、疾患名が必要。血液サラサラ系を飲んでいても抜歯OK。エビデンスあり。 ・ADLの違いによる治療の可否、各歯科医によりけり。 ・車イスOKのところもあり。（介助の人がいれば、車イスのまま診てもらうこともできる。） ・認知症の人は治療しない。説明ができない。納得してもらえない。応急処置のみ。 ・歯科医師会の訪問マニュアルの有無。EX)。血液データは正近1か月のものなど。お薬手帳、血液データを持参してもらおう。白血球数↓で抜歯できないこともある。 ・咀嚼や口腔ケアの大切さ。優先順位をつけて身体疾患→口腔も。 ・歯科外来のうちから「ラッシュ」指導をして在宅訪問しなくてすむようにしていく ・治療前にはみがき指導が必要な人もいる ・歯科の教育指導の普及啓発が先かな。 ・かかりつけ歯科医以外でも訪問歯科診療を依頼してもよい ・在宅での歯科診療はやりたい診療はほとんどできない ・歯科に関するどんな「ニーズ」があるのか知りたい 	<p>在宅←入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガンの手術、放射線療法を予定している場合は周術期の治療を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中は口腔清掃状態を保つよう指導していくことが重要 ・施設の場合は歯科医師と連携があれば、入所者のアセスメントをとり治療を行うこととなる。

4つの場面（①在宅・②在宅→入院入所・③入院・入所・④在宅←入院・入所）にて、自分が専門職としてできること、連携相手に期待すること。
 （★実際にしている業務内容、依頼されることは少ないができること。★連携相手に協力して欲しいこと。）

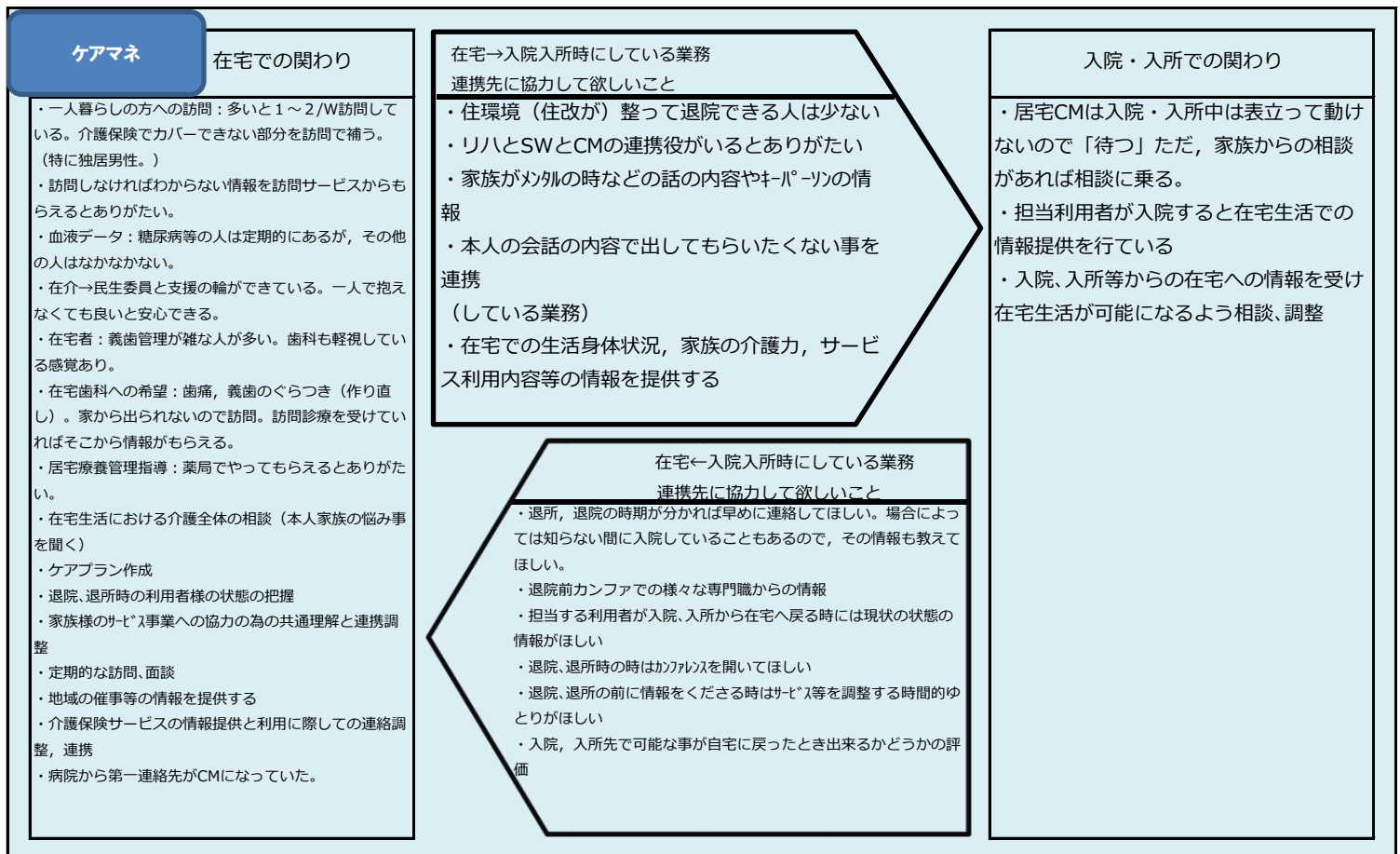
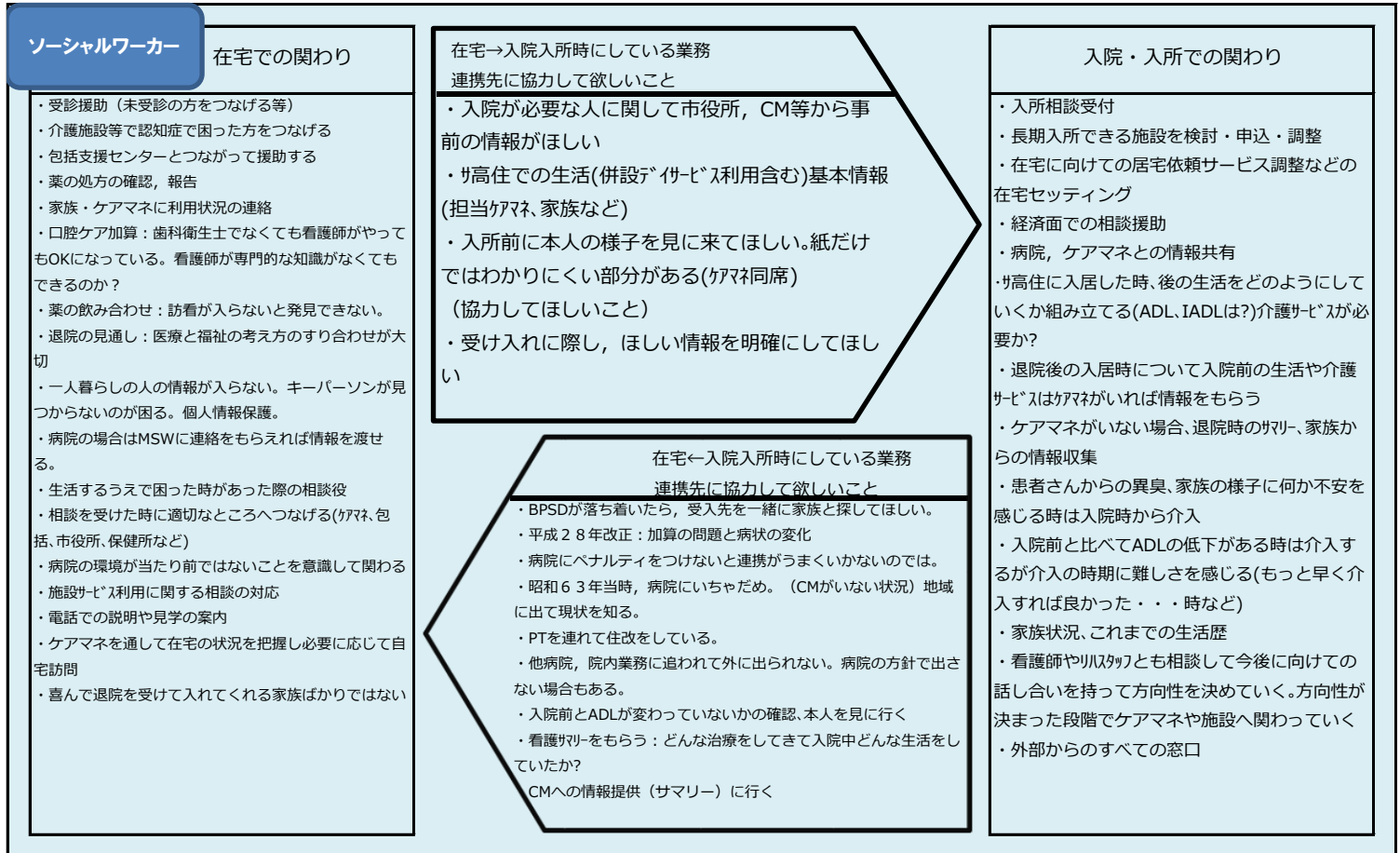


4つの場面（①在宅・②在宅→入院入所・③入院・入所・④在宅←入院・入所）にて、自分が専門職としてできること、連携相手に期待すること。
 （★実際にしている業務内容、依頼されることは少ないができること。★連携相手に協力して欲しいこと。）

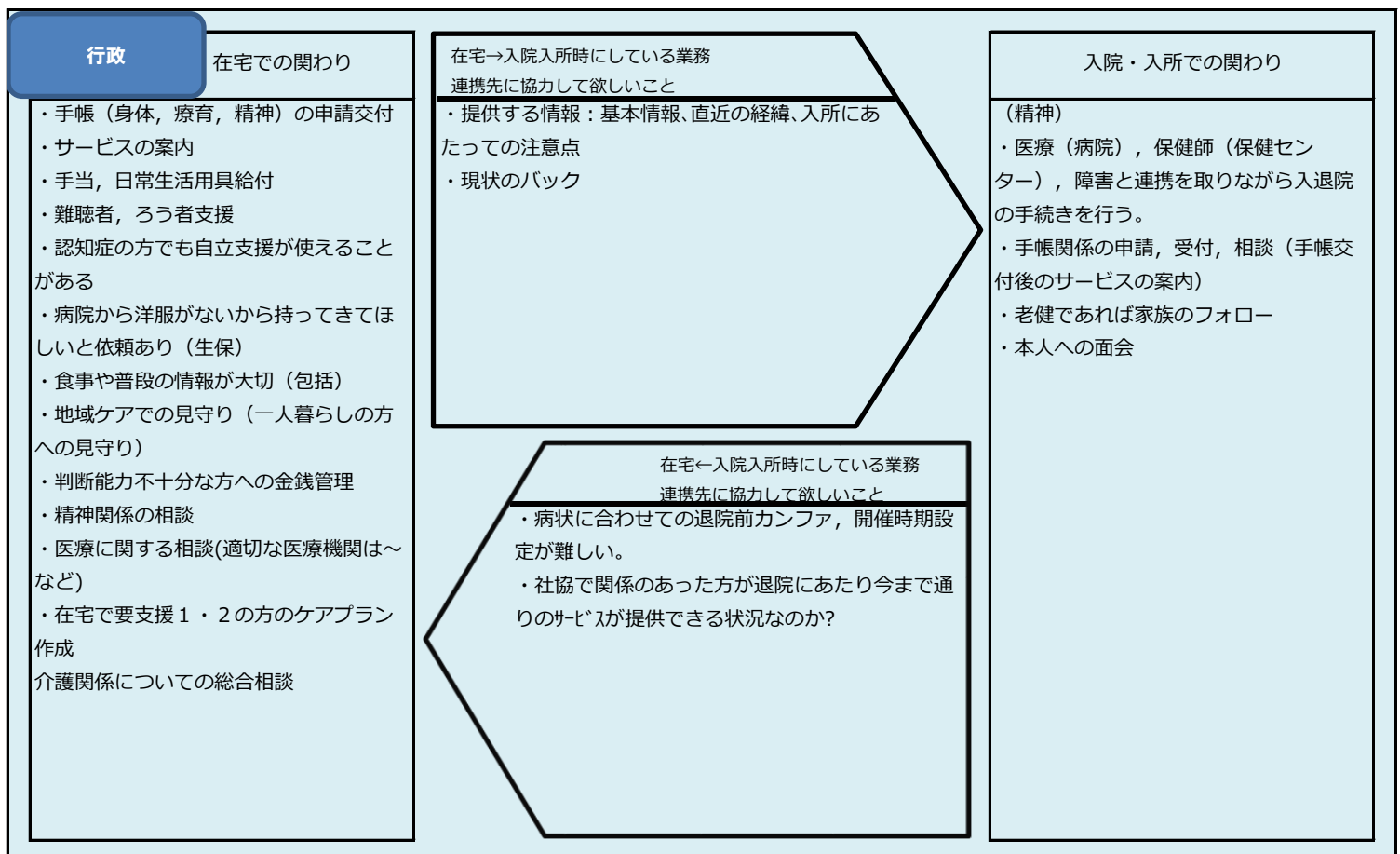
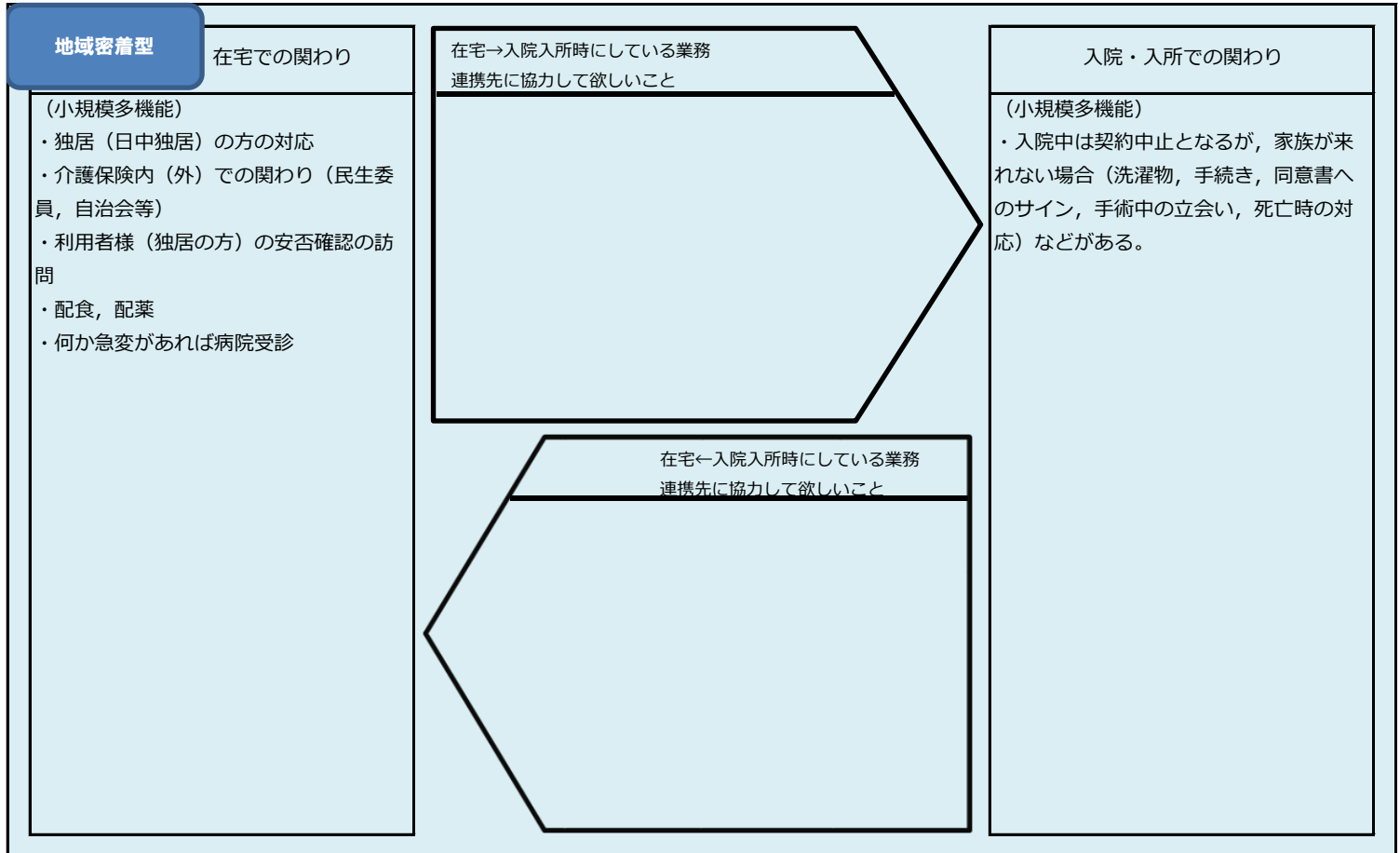
看護師	在宅での関わり	在宅→入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと	入院・入所での関わり
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者へのアドバイス（介護方法，難病申請など） ・介護者への精神的支援 ・多職種への連携と調節 ・生活支援 ・状態観察（早期異常発見→医者への報告） ・医療処置（褥瘡処置，点滴，吸引など） ・小児レスパイトケア（日中預かり） ・在宅療養生活の支援 ・処置やケアが継続できるように ・体調不良時の対応方法の判断のお手伝い ・必要（不足）な情報を相談員に依頼 ・相談員から情報を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリーの記入（状態の中間報告，死亡連絡） ・精神科の方の症状についての困り方が病院とずれてしまう。 ・家族構成・キーパーソンの理解力 ・今の時期だと予防接種，肺炎球菌ワクチンの接種月 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中に訪問看護が決定するなら病棟への事前訪問 ・看護計画，栄養マネジメント計画書の内容の確認 ・軽快した人のサマリーの準備はできているか
		<p>在宅←入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療面の情報 ・物品の値段、入手方法(家でも使える値段) ・経過を伝える（サービス事業者，外来） ・病歴，併用歴 ・投薬経路（経口・経管） ・身体情報 	

栄養士	在宅での関わり	在宅→入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと	入院・入所での関わり
	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅管理指導：Dr.からの指示で食事の状況を見て栄養指導する ・嚥下食 ・保健センター：栄養指導、改善 ・簡単な料理：電子レンジ 		
		<p>在宅←入院入所時にしている業務 連携先に協力して欲しいこと</p>	

4つの場面（①在宅・②在宅→入院入所・③入院・入所・④在宅←入院・入所）にて、自分が専門職としてできること、連携相手に期待すること。
 （★実際にしている業務内容、依頼されることは少ないができること。★連携相手に協力して欲しいこと。）



4つの場面（①在宅・②在宅→入院入所・③入院・入所・④在宅←入院・入所）にて、自分が専門職としてできること、連携相手に期待すること。
 （★実際にしている業務内容、依頼されることは少ないができること。★連携相手に協力して欲しいこと。）



4つの場面（①在宅・②在宅→入院入所・③入院・入所・④在宅←入院・入所）にて、自分が専門職としてできること、連携相手に期待すること。
 （★実際にしている業務内容、依頼されることは少ないができること。★連携相手に協力して欲しいこと。）

